

12月 定例市議会報告

12月定例市議会が、11月30日から12月20日までの会期で開催され、合併関連議案や平成22年度一般会計補正予算など、議案が原案どおり可決、承認されました。主な議決案件をお知らせします。

～ 12月補正予算の概要 ～

一般会計

総額 5億 4,690 万円の増額補正
(補正後の予算総額は 644 億 2,087 万円
対前年度比△ 5.9%)

★合併関連予算

- 電算統合事業負担金 4,890 万円
斐川町との合併において電算システムの統合を進めるため必要な基本設計をまとめる経費。
総額 9,780 万円を見込み、その 1/2 を負担金として斐川町へ支出します。

★地域生活安全・安心対策

- 市街地水害解消対策事業 4,100 万円
新内藤川流域の浸水被害を解消するため、大津昭栄地区に調整池を設けます。
- 学校耐震化対策推進事業 2,200 万円
耐震補強設計業務(檜山小学校体育館、湖陵小学校体育館)
木造校舎耐震診断業務(今市小学校、塩津小学校、鶴鷺小学校)

★産業・観光振興

- ふるさと融資貸付事業《新規》
3億5,700 万円
雇用拡大が見込まれる3事業所に対し、ふるさと融資の貸し付けを行います。

★福祉対策・若者支援

- 障がい者自立支援サービス給付費
2 億円
サービス利用件数の伸びに対応するため、予算を追加します。
- 生活保護費 1 億 6,300 万円
保護世帯数の伸びなどに対応するため、予算を追加します。

特別会計

総額 7,390 万円の増額補正
(補正後の予算総額は 386 億 690 万円
対前年度比△ 3.9%)

国民健康保険事業	4,270 万円
簡易水道事業	3,120 万円

予算案件 8 件

○平成22年度
一般会計・特別会計補正予算(左表)

条例案件 10 件

○出雲市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
現在ある可燃ごみ指定袋の「小」よりもさらに小さい「特小」を新たに作るため、条例改正を行いました。

○出雲市外部監査契約に基づく監査に関する条例
従来の監査委員の機能に加え、外部の専門家による監査を可能とする外部監査制度を導入するため、条例を制定しました。

○出雲市トキとの共生まちづくり基金条例
トキに係る事業を推進するに当たり、広く協力を募り、有効活用できるよう基金を創設するため、条例を制定しました。

○浜山湧水活用施設の設置及び管理に関する条例
環境省の「平成の名水百選」に選ばれた浜山湧水群の水汲み場を設置することに伴い、条例を制定しました。

単行議決案件 51 件

○公の施設の指定管理者の指定について
公の施設、68施設の指定管理者が決定しました。

○出雲市及び簸川郡斐川町の廃置分合について
平成23年10月1日から斐川町を廃し、

その区域を出雲市に編入することを県知事に申請することについて、決定しました。

○出雲市及び簸川郡斐川町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について
斐川町の財産は、すべて出雲市に帰属させることを斐川町と協議して定めることが決定しました。

○出雲市及び簸川郡斐川町の廃置分合に伴う議会の議員の定数に関する協議について
議会の議員定数について、出雲市議会議員の残任期間に限り、出雲市議会議員の定数34人に、合併前の斐川町の区域に設けられる選挙区から選出される議員6人を加える40人とするのを、斐川町と協議して定めることが決定しました。

第18回

訪ねてガッデン!! 出雲の歴史



1月15日(土)

～2月13日(日)

新発見!

とっとり・しまね

山陰両県で近年発見された出土品が大集合!

発掘速報展

観覧無料!

〔島根会場〕

出雲弥生の森博物館

企画展示室

(出雲市大津町)

開館時間: 9:00 ~ 17:00

(入館は 16:30 まで)

休館日: 毎週火曜日

この速報展では、今年度の発掘調査で発見された資料や当地で初公開のものなど、両県における最新の調査成果を一堂に集め、一早く公開します。島根県では出雲弥生の森博物館を会場に開催します。当時の人々の生活へ思いをはせて山陰の歴史への理解を深めていただくとともに、郷土への愛着・誇りを感じていただくことを目指しています。ぜひお誘い合わせのうえ、お出かけください。

主な展示内容



将棋の駒(中世)・顔を表現したミニチュア木製品(中世)
(出雲市 高浜I遺跡)



J字形のガラス勾玉(弥生時代)
(松江市 西川津遺跡)



漆が付着した甕(古代)
(松江市 史跡出雲国府跡)



ジョッキ形容器(弥生時代)
(出雲市 山持遺跡)

——オープニングイベント——

と き: 1月15日(土)

9:00- 9:30 出雲弥生の森博物館フォトコンテスト

「出雲の原風景と色彩」表彰式

9:40-10:20 両県職員による展示解説

10:30-12:00 調査成果報告会

*事前申込が必要です(先着 70 名・入場無料)

——関連イベント——

講演会「掘った! わかった! 弥生時代の出雲!」
～遺跡が語る文化交流～

と き: 1月22日(土) 13:00 ~ 17:00

ところ: 出雲弥生の森博物館

内 容:

講 演 武末純一氏 (福岡大学教授)

事例報告 山持遺跡 池淵俊一 (島根県文化財課)

矢野遺跡 坂本豊治 (出雲市文化財課)

鳥取県の遺跡 湯村 功 (鳥取県立公文書館)

シンポジウム

「弥生時代の出雲と朝鮮半島の文化交流を考える」

*事前申込が必要です(先着 100 名・入場無料)

申し込み・おたずね/島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL: 0852-36-8608 FAX: 0852-36-8025

主 催: 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター、鳥取県埋蔵文化財センター 共 催: 出雲市

文化財保護審議会委員シリーズ講座 (出雲の文化財)

文化財各分野のプロフェッショナル「文化財保護審議会委員」によるシリーズ講座です。

参加者募集

●日 程 (全4回)

① 2月12日(土)

講 師: 藤間 亨氏 (出雲文化伝承館名誉館長)

テーマ: 美術工芸品の魅力

～国宝白糸威鎧の美術性と意義～

② 2月19日(土)

講 師: 和田嘉宥氏 (島根県文化財保護審議会委員)

テーマ: 文化財建造物の魅力とその見方

～出雲大社の建造物を中心に～

③ 3月12日(土)

講 師: 浅沼政誌氏 (県立古代出雲歴史博物館・交流普及グループ課長)

テーマ: 出雲藍板締めの世界

④ 3月26日(土)

講 師: 西尾克己氏 (島根県古代文化センター長)

テーマ: 出雲にもたらされた中国陶磁器

●時 間 午後1時～午後3時

●と ころ 出雲弥生の森博物館 (大津町)

●受 講 料 各講座300円

*当日お持ちください。

●募集人員 60名

●申込方法 各コミュニティセンターにある開催要項(申込書)を出雲弥生の森博物館へ送付。(FAX可) また、電話での申込みも受付。(2月9日まで)
※定員になり次第講座ごとに締め切ります。

■問合せ・申込先 出雲弥生の森博物館

TEL 25-1841 FAX 21-6617